

月にみがきて



更級小学校だより
No. 7 H26. 8. 25

2学期のスタート

24日間の夏休みが終わり、8月19日から2学期がスタートしました。2学期初日、朝から暑い中、夏休み中の課題等たくさんの荷物を持って子どもたちが登校してきました。「おはようございます」の挨拶をして校舎へ。「2学期が始まるな」と実感しました。

2学期の始業式が行われ、3名の児童が「2学期の抱負(目標)」を発表してくれました。

- 2年生：①計算をがんばりたい。筆算を使わなくてもできるようになりたい。②九九を早く覚えたい。③乗り物遠足で時計を見て遅れないようにしたい。約束を守って楽しくやりたい。
- 4年生：①1学期多かった忘れ物をしない。②漢字テストで100点取れるように漢字練習をがんばる。③運動会の短距離走をがんばりたい。④国語の教科書のように字を丁寧に書く。
- 5年生：運動会の組体操に向けて、協力して練習しすべてをパーフェクトにしたい。②自主勉強で新聞を読んだり、教科書の内容を調べたりして、社会科を好きになりたい。

児童の発表の後、2学期の始まりにあたり、校長先生が次のようにお話されました。

3人の人に発表をしてもらいました。しっかりとした目標を持っていることはとても大切なことですね。この目標に向かってがんばっていきましょう。

さて、みなさんはこの夏休みどんな思い出ができましたか。又、各学級でお友達や先生に夏休みの様子を話してあげてください。

私はこの夏休み、神山 忠(こうやま ただし) 先生という人に出て、その先生のお話を聞きました。この先生は現在 岐阜県の県立関(せき)特別支援学校の先生で、小学生を教えながら全国を飛び回って、お話をしたり、勉強に困っている子どもたちやそのお家の方々の相談にのっています。

実は、神山先生は今は小学生を教えています、自分が小中学生、高校生の時、勉強がわからなくて困っていました。正直言えば今もわからないことが多いそうです。学校では教科書を使って勉強しますが、教科書にはいろいろな文字を使って文が書いてあります。神山先生はその文を見て読んで理解することがとても難しいのです。算数の計算や図形の問題は普通にできるのに文の意味を読み取ることができません。

そのために指で文字を追って必死で読んでも、なかなかみんなに追いつきません。「まだそんなところか」と先生に言われて、友達にも馬鹿にされ悔し涙を我慢したこともたびたびでした。友達に聞こうとしても繰り返し聞くものですから、いやがられ、強く聞くと暴力だと非難されて嫌われました。わかるようになりたいとがんばっても、なかなか思うようにならず、キレて暴力を振るようになって、高校生の時は悪いことをするようにもなりました。



【神山 忠先生】



【神山先生文字の見え方】

そんな神山先生は高校を出て自衛隊に入りました。実物を使って、実際の訓練の中で教えられました。文字に書いたものを勉強するのではなく、実際の訓練の中で、何千万円もするような武器や機械を動かすことができ、自分にもできるという自信を持つようになりました。そして、自分のように勉強に困っている子を助けてやりたい、先生になって助けてやりたいと思うようになったそうです。

相変わらず文に書いてあることを理解するのは難しかったのですが、大学の先生の話の録音したり、黒板の字を写真でとって繰り返し繰り返し見たり聞いたりして勉強しました。そしてついに学校の先生として勤めることができるようになりました。今では自分の子どもと家の前に駐車場つくっています。文に書いてあることを理解することは苦手でも物作りは得意なんです。そんな苦勞をしてきた神山先生が次のように言っています。

人が全員誰にも頼らずに生きていけたなら、人は人でなくなるのかも知れません。

「お互い尊敬し合う」そんなこともなくなりますよね。

そんな社会よりも、「もちつもたれつ」の社会。

この方が人間らしい生き方だと思います。

誰もが命を授かったと同時に、一人一人にさずかった素敵な物があります。

その人にしかない、さずかった良さが絶対にあります。

それを大切にしていけば良いのではないのでしょうか。

人に勝ち負けや優劣を付ける必要はない。

みんなが輝いて助け合い、尊重し合って共に生きて行ければいい。

だれもが存在価値を実感して生き甲斐を持って生きるために。

みなさんにも一人一人授かったすてきなよさが必ずあります。二学期、そうした友達のすばらしさやがんばりをよく見て、見つけて大事にして生活しましょう。そうすれば自分のよさや自分がみんなの役に立っている人なのだとわかってきます。神山先生のように勉強にわかりにくさがあっても、方法を工夫しわからないことは助けてもらってやっていくことができます。

みんなの力で、楽しい学校生活をつくっていきましょう。

2学期には、運動会や縄文祭りといった大きな学校行事や各学年の行事があります。その行事を成功させるために友達と協力し準備を進めていくことになります。その過程ではもしかしたら友達と意見が食い違い、ぶつかり合うこともあるかもしれません。でも、それを乗り越えて一つの出来事を成し遂げていく中で、きっと友達のよさやがんばりがわかると思います。また、自分が取り組んだことが誰かの役に立っていることもわかります。友達を大切にする心を育むと共に、自分自身を大切に思える心(自尊感情)をも育めます。より一層心豊かな子どもたちにぞたつてほしいと願います。

2学期は登校日数87日間です。しばらくは残暑が続くでしょう。12月になれば寒さが増してくるでしょう。健康に気をつけるとともに交通安全にも気をつけ、一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。そして、2学期終業式には、「2学期の目標が達成できたぞ」「友達のいいところをたくさん見つけられたぞ」「とってもよい2学期だったな」と語り合えるようになって欲しいと思います。

保護者の皆様には、何かとご協力いただくことがありますが、どうぞよろしくお願いいたします。